

RFタグを活用した洋書の販売管理システム

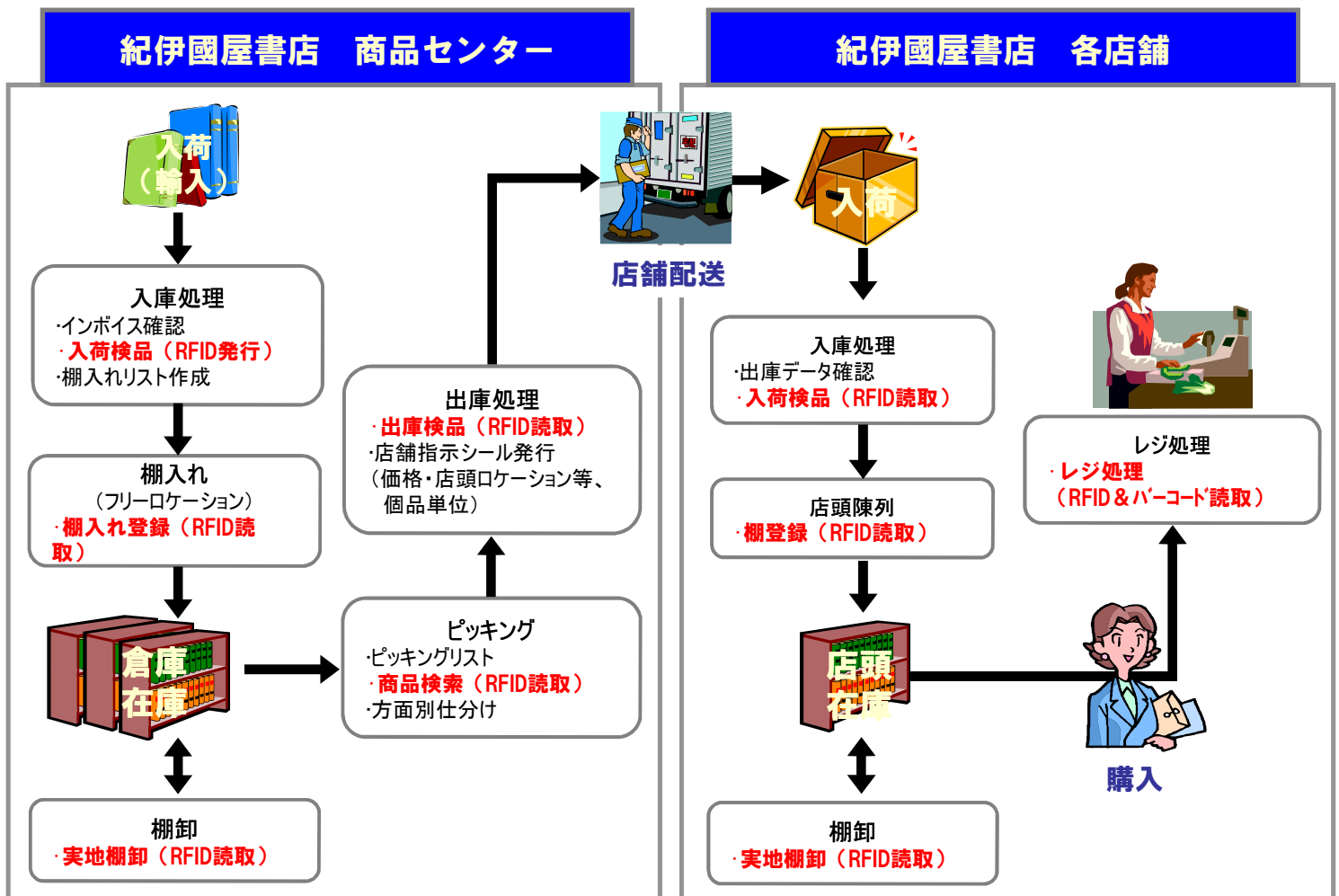
株式会社紀伊國屋書店
昭和図書株式会社
株式会社数理計画
凸版印刷株式会社

システムの概要

UHF帯RFラベルタグを輸入書籍(以下、洋書)へ貼り付け、倉庫や店舗における入出庫(入出荷)・在庫・販売管理を行うシステムです。

洋書の荷受先である物流センターから、書店店頭までを、RFタグの活用により、一貫した個品管理が実現できました。

個品管理のコスト削減効果をお客様へ還元(低価格販売)することで、書籍流通の活性化へも貢献しています。



導入の背景

日本国内の書籍(和書)の商品管理においては、再販制度により商品価格の変動がないこと、仕入先となる取次会社がほぼ固定されていることから、タイトル毎の管理で事足りていました。

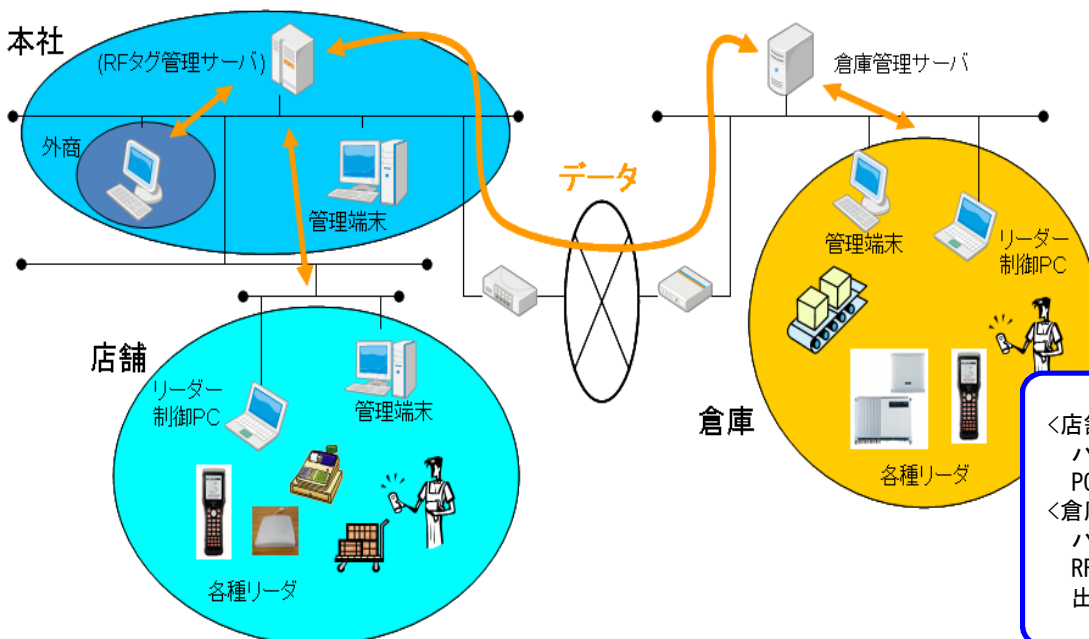
しかしながら、洋書については、同じタイトルであっても、輸入の度に取次会社が変わることや、同じ取次会社であっても、輸入部数や為替レートなどによって仕入価格が変動しています。

そのため、同じタイトルであっても、1冊毎に価格や返品条件などが異なるため、商品を個別に管理する必要がありましたが、バーコードでは管理が難しく、十分な管理ができていませんでした。



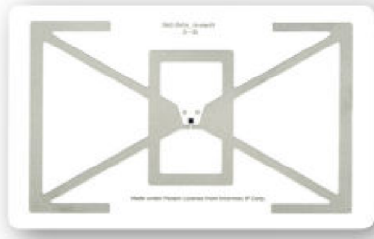
同じタイトルなのに
価格が異なる！
(ISBNコードは同じ)

システム構成



〈店舗〉 ※新宿本店のみ	
ハンディターミナル型RW	5台
POSレジ用据置型RW	5台
〈倉庫〉	
ハンディターミナル型RW	10台
RFラベルタグプリンター	25台
出荷管理用RW	25台

書籍専用RFタグ



サイズ : 60 × 34mm
チップ : G2XM
周波数 : 850～960MHz
アンテナ : 銀インク
テープ : 再剥離タイプ

Point①!

世界最高クラス^{注1}の通信性能

Point②!

周波数移行を考慮に入れた広帯域設計

Point③!

印刷でアンテナを形成、コストを極限まで低減

Point④!

インレット製造時のCO₂を削減し、環境にも優しい設計^{注2}

Point⑤!

再剥離糊を使用し、プライバシーへ配慮

注1: 凸版印刷調べ、同サイズのアンテナと比較した場合
注2: エッチングアンテナと比較した場合

RFタグによる導入効果



①物流業務の効率化

物流コストの大幅な削減



②売上・原価管理の精度向上

赤字販売の撲滅



③返品管理の精度向上

誤返品 of 撲滅



④検索機能強化

販売機会逸失の撲滅



⑤棚卸業務の効率化

棚卸コストが従来の1/4!